

伊 福 部 昭



生 誕 1 0 0 年

2014 8/16 18:00 開演
土曜日 [17:30 開場]

ヒロエホール

愛知県長久手市岩作中繩手9番地
Tel. 0561-63-3699

記 念 コ ン サ ー ト

Reiko Yamada, *Piano*

Patrick Godon, *Piano*

2014 8/17 15:00 開演
日曜日 [14:30 開場]

カワイ名古屋
コンサートサロン「ブーレ」

愛知県名古屋市中区錦3-15-15
Tel. 052-962-3939

i n 名 古 屋

コンサートプログラム

8月16日(土) 全曲 伊福部昭作品	8月17日(日)
ピアノ組曲 [盆踊り、七夕、演伶(ながし)、倭武多(ねぶた)] “火の歓喜”プロメテウス(舞踏劇の2台ピアノ版)より ピアノとオーケストラのためのリトミカ・オスティナータ (第2ピアノ:オーケストラ リダクション) SF 交響ファンタジー [ゴジラなど映画音楽の抜粋メドレー曲]	ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791) 2台ピアノのためのソナタ 二長調 K.448 アブラム・チェイシンズ (1903-1987) カルメンファンタジー ジョージ・ガーシュイン (1898-1937) ラプソディー・イン・ブルー 伊福部昭 (1914-2006) ピアノとオーケストラのためのリトミカ・オスティナータ (第2ピアノ:オーケストラ リダクション) 伊福部昭 SF 交響ファンタジー [ゴジラなど映画音楽の抜粋メドレー曲]

チケット・プレイガイド・お問い合わせ

8月16日 一般 2,000円 / 学生 1,000円	チケット取り扱い 愛知芸術文化センター プレイガイド (Tel. 052-972-0430) カワイ名古屋 プレイガイド (Tel. 052-962-3939) お問い合わせ 伊福部昭 生誕100年記念コンサートイン名古屋 実行委員会 (Tel. 080-4965-2200) ヒロエホール (Tel. 0561-63-3699)
8月17日 全席 2,500円	
16日・17日通し券 4,000円	

演奏者プロフィール Biography

山田令子: ピアノ Reiko Yamada, Piano

栃木県日光市生まれ。東京音楽大学ピアノ科卒業。1990年に渡米し、ルーズベルト大学(シカゴ カレッジ オブ パフォーマンス アーツ)ピアノ科で音楽修士号を取得後、デュボール大学のピアノ演奏研究科で学ぶ。1992~98年までシビックオーケストラ(シカゴ交響楽団トレーニングオーケストラ)のピアニスト(準首席・首席鍵盤奏者)としてサー・ジョージ・ショルティ、ダニエル・バレンボイム、ピエール・ブレーズ、ズーピン・メータなどのもとで数多くの演奏会を経て、1996年にはクリストファー・エッセンバツハ指揮シカゴ交響楽団でチェレスタを担当する。現在ミシガン州カラマズー交響楽団のピアニスト(首席鍵盤奏者)を務める。これまでアメリカ各地や日本でソロや室内楽の演奏を行い、シカゴ交響楽団の室内楽シリーズではチェンバロを演奏するなどレパートリーはバロックから現代音楽に及ぶ。東京音楽大学在学中の4年間、作曲家伊福部昭氏のゼミナールに聴講生として参加し、氏の作品・思想に強い感銘を受ける。伊福部氏との打ち合わせを経て実現された2006年6月、栃木県宇都宮市での早川正昭氏指揮 栃木県交響楽団との伊福部昭作曲“ピアノとオーケストラのためのリトミカ・オスティナータ”の演奏をはじめ、これまで積極的に伊福部作品を取り上げ多数の演奏会で、伊福部作品のコンセプトに忠実な演奏の実現に努めてきた。2008年3月、ミシガン州でのレイモンド・ハービー指揮カラマズー交響楽団“リトミカ・オスティナータ”の演奏でも絶賛を博した。同年に発表したCD“伊福部昭ピアノ作品集第一集”はレコード芸術特選盤に選ばれ、「音色使いに作曲家の意が乗り移っている。」「音楽の魅力を無理なく、自然に引き出している。」と講評を得る。2010年7月には日光市合併5周年記念コンサート『伊福部昭の世界』において世界初演を含む室内楽2曲と荻町修指揮・栃木県交響楽団と“リトミカ・オスティナータ”を再演奏し「正に自然、追真演奏。終演後の開場が圧倒的な感動に包まれたのは伊福部の精神を体現した証左にほかならない。」と講評を得る。2013年にCD“伊福部昭ピアノ作品集第三集”を発表。2014年5月に東京交響楽団の現代日本音楽のタベシリーズで伊福部氏の“ピアノとオーケストラのためのリトミカ・オスティナータ”を演奏。同年5月と8月には“伊福部昭 生誕100年記念室内楽コンサート”を数カ所で演奏予定。シカゴではリチャード・デーリー・カレッジ、セントザビエル大学、シカゴ音楽院のピアノ講師を務めてきた。ピアノを白石百合子、丸山恵美、ルドミラ・ラザールメアリー・サワーに、チェンバロをロジャー・グッドマン、デーヴィッド・シュレーダー各氏に師事。

パトリック・ゴードン: ピアノ Patrick Godon, Piano

2007年にアラン・ギルバート指揮、シカゴ交響楽団とのコーリン・マックフィー作曲の“オーケストラと2台のピアノのためのトッカータ”のソリストとしてメアリー・サワーと共に演奏した他、レイクショア交響楽団とガーシュイン作曲“ラプソディー・イン・ブルー”を演奏するなど、数々のオーケストラとソリストとして共演している。2003年にラビニア音楽祭にてシカゴ交響楽団第二鍵盤奏者としてデビュー。2005年にはヨーロッパツアーや東海岸ツアーに第二鍵盤奏者として招かれて以来5年間同交響楽団と演奏している。ゴードン氏はシカゴ交響楽団の現代音楽室内楽のメンバーとして、リハーサルでバレンボイム氏の代わりも務めた。2008年よりヴァージニア交響楽団とアルス・ヴィヴァ交響楽団を、2010年よりデラウェア交響楽団の鍵盤奏者を務めている。2006年にインターナショナル・チェンバー・アーティスト(ICA)を創立し、総長・アーティストックディレクター・ピアニストとして若手演奏家と後援者を結びつけ数多くの演奏会を開いている。演奏会においては、将来のクラシック音楽の普及についでいけるよう、曲目の解説など織り込んだ教育的な目的も含めた構成をとっている。詳細はwww.ICAmusic.org参照。2003年よりゴードン氏は、アンダーソンヴィルとエッジウォーターにあるセント・グレゴリー大教会の音楽監督として聖歌隊を引き連れ、イタリア、ギリシャ、トルコ、ルイジアナ、アイルランドで演奏会を開いた。ノースダコタ州のファゴ市生まれ。1997年からシカゴ交響楽団首席ピアニストのメアリー・サワーに師事し、デュボール大学音楽科ピアノ演奏コースで音楽学士号・修士号を取得。現在、妻のケリーと息子ギルバートと共にシカゴ市内に在住。

カワイ名古屋 コンサートサロン「ブルー」
アクセス

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦3-15-15 (CTV 錦ビル1F)
地下鉄名城線・東山線 栄駅3番出口すぐそば

